

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	令和6年度 第1回砥部町子ども・子育て支援会議
2 開催日時	令和6年10月17日（木）午後3時～午後4時17分
3 開催場所	砥部町中央公民館 4階 講座室
4 審議等事項	(1) 第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について (2) その他
5 出席者	【出席委員】12人 本多 肇、二神 和徳、大野 孝一、竹原 麻琴、 秋本 康富、村上 明子、安原 優子、則友 美紀、 白形 理恵、近藤 富美、堀江 直美、天野 沙耶花、 福見 早苗 【欠席委員】0人 【事務局】7名 岩田 恵子(保険健康課長) 伊達 定真(学校教育課長) 堀 潤一郎(子育て支援課長) 中山 晃志(子育て支援課長補佐) 東 勝之(子育て支援課 保育幼稚園係長) 住田 江里子(子育て支援課 子育て支援センター係長) 佐川 達哉(子育て支援課 子ども福祉係長) (株)ジャパンインターナショナル総合研究所 2名
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	なし
9 所管課	子育て支援課 子ども福祉係 電話 089-962-6299

発言者	発 言 内 容
	1 開 会 2 会長・副会長選出 3 会長あいさつ 4 議 事 <u>【議題（１）第３期砥部町子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について】</u>
会長	議題（１）第３期砥部町子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	議題（１）第３期砥部町子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について、資料に基づき説明
会長	事務局からの説明が終わりましたが、質問はありませんか。
委員	15 ページの就学前児童とはどういう意味ですか。
事務局	就学前の児童がいる保護者に対して、小学校に上がったときにどうしたいかという質問です。
委員	実際には半分くらいの人が児童クラブを利用していますか。
事務局	アンケートの対象は１から６年生の児童がいる保護者となっており、児童クラブの利用は概ね１から３年生の利用のため、全体でみると３割程度になっています。
委員	就学前の児童がいる保護者が、小学校へ上がったとき放課後どのように過ごすかという質問に対して、４割が自宅と答えていますが、どれぐらいの家庭が家に保護者や祖父母などがいるのかという数字はつかめているのでしょうか。
事務局	今回のアンケートでは過ごし方の質問だけで、共働きではないや祖父母がいるため、などの一つ踏み込んだ質問をしているわけではないため、実際の数字については不明です。 実際に、自宅で過ごせるかどうかについては、就学前児童の保護者に対するアンケートでありますので、ある程度理想の状態についても含んで回答されているのではないかと推察します。
委員	子どもの居場所づくりが問題になる中で、児童クラブに通っている以

	外の子どもたちが、誰かの目の届く範囲で過ごすことができているのが気になって質問しました。
委員	麻生小学校の児童の過ごし方ですが、低学年については、下校時間に合わせて保護者の終業時間を調整している家庭や、麻生児童館等を利用して遊んでおり、子どもだけで過ごしているという状況はないように思います。 高学年になればある程度の時間まで仕事の時間を延ばすというような家庭が多いと思います。
委員	19 ページのティーチャーズ・トレーニング、ペアレント・トレーニングはどのようなことを行うのですか。特性のある子どもが年々増えており、教員も、大学を出てすぐ採用された 20 代前半の学級担任がいきなり対応を始める状況で、やはり苦勞しているのが分かりますのでこういった取り組みが進んでいくと大変ありがたいなと思います。
委員	ペアレント・トレーニングは発達の気になる子どもや育てにくいと感じる子どもがいる保護者に対して、行動療法に基づいた理論に基づき、どのようにかかわっていけばよいかまた関係づくりによって子どもの行動が変わっていくという内容になっており、それから派生したティーチャーズ・トレーニングは、集団の中でのかかわりという違いがあるものの、先生のかかわり方を変えることで子どもが変わっていくという内容になっています。
委員	全 6 から 10 回ぐらいの講座となっています。
委員	教員が利用できるということでしょうか。
委員	現在、介護福祉課へ学校教育課と連携してそういった取り組みを行いたいという要望は出しております。
委員	19 ページの文章内の「養育者の」について、養育者に限定していないため削除してもらえますか。
事務局	削除します。
委員	30 ページの放課後児童クラブについて、待機児童が発生していますというのは預けられない子どもがいるということですか。その場合ほかに預けられる事業はありますか。
事務局	有料ではありますがファミリーサポートセンターで預かる事業はございます。 基本的には 1・2 年生で児童クラブに預けられないということはありません。様々な要因を含んでですがそれぞれ点数をつけて高い順に入れるようにしていますが、低学年の点数が高くなるように設定しています。

委員	実際には本年度の待機児童については麻生小学校の４年生が３から４名程度待機となっています。 10 ページからの質問に対する回答結果で多くの人が両親とも就労している状況が分かり、ぽっかぽかについても利用したことがある人が多く、今後利用したいという人も多くいるということでありがたいと思います。が、就労して保育園に子どもを預けると平日の昼にしか開いていないぽっかぽかは利用してもらうことができなくなってしまいます。 毎週の土日を開けることは難しいですが、相談できる場所や仕事をしている人に対応できる体制・仕組みづくりをしていく必要があると感じました。
委員	私は、子どもが１歳の時によく利用させてもらいました。その時は保育園に入れず、待機児童になったため、仕事はお昼寝のときにする生活をしていました。午前中しっかり遊んで、ぐっすりお昼寝してもらえようになってありがたかったです。 しかし、保育園に預けられるようになると利用することができなくなりました。土日に空いていればと思うこともありますが、なかなか難しいだろうと思います。 今は土曜保育も利用しているので、町内で日曜日に子どもたちの発散できるような場所があったらよいと思います。
委員	日曜日に合わせて行った事業もあるので、今後検討していきたいと思います。
委員	普段は児童館で働いておりますので、児童館は土日開いているのでぜひ来てくださいと言いたいところではありますが、最近は中学生の利用も多く幅広い年代を受け入れることに難しさを感じています。 子どもたちが遊べる場所が増えて分散することができればよいと思います。
会長	【議題（２）その他】 議題（２）その他について、何かご意見・ご質問等ございませんか。 意見なし 議事終了 会議終了 【16:17 閉会】